

in relation to the rapidly increasing population.

For these reasons, it seems to be extremely important to clarify in this symposium the relationship between the human environment and population, taking into full account the recommendations and resolutions of the Stockholm Conference and the Second Asian Population Conference.

以上の statement 中でのアジア人口会議の成果の重要性の指摘に対しては、インドネシア代表、フィリピン代表ならびにアメリカ代表、スウェーデン代表が続いて強力に支持する発言を行なってくれた。この会議の少なくとも当初におけるラテン一色の雰囲気に対し、アジアの重さを特に事務当局に印象づける効果があった。

(6) WPPA に対する重要な input としての各国政府の見解は、“Second Inquiry on Population Growth and Development” (Country Statement として共用) に必ずしも反映されがたいことについて、わが方は次のように注意を喚起する statement を行なった。

Government Opinions As An Input to The Study of WPPA

Secretary General of the Conference frequently emphasized basic importance of governmental opinion as an input to WPPA, and consequently, necessity of consulting with as many governments as possible. My delegation fully agree with his view, particularly because replies to the Second Inquiry on Population Growth and Development among Governments or Country Statements are designed to deal with broad items within a very limited space, namely 5,000 words. Consequently, government policies or views on population problems might not be sufficiently reflected, regardless of their importance, in their replies to the Second Inquiry. Much more detailed information on governmental attitude toward population problems could be obtained through direct consultation with governments, and in particular, it should not be overlooked that some countries will be able to give detailed information of great interests on particular aspects of population problems with which they are currently concerned more deeply, but can not be given in detail in their Replies to the Second Inquiry because of limited space.

(6) 最初の draft World Population Plan of Action は第17回人口委員会(本年10月下旬から11月初旬)に事務局側から提出される。6月のカイロの“人口と開発”シンポジウム、8月のハワイの“人口と家族”シンポジウム、9月ストックホルムの“人口、資源と環境”シンポジウムの結論ならびに7月の Advisory Committee of Experts on the World Population Plan of Action (“Advisory Committee of Experts on Global Population Strategy” が1972年8月の第1回 special session で改名された。その際国連事務総長がその専門家委員会の援助をえて行なう “Study on global population strategy” も “Study on population problems, policies and priorities: technical background to the World Population Plan of Action” と改名された)の討議結果等を基礎とした第1次草案が第17回人口委員会に提出される。以上の国連側の活動を考慮に入れながら、わが政府の対処方針の準備を進めていく必要がある。

(黒田俊夫記)

1971年世界(主要地域)人口

国際連合統計局 (Statistical Office of the United Nations) は、1973年2月13日、『世界人口年鑑 (Demographic Yearbook)』の1971年版を発表した。今回刊行された年鑑は、1948年の第1集から数えて第23集めに当たる。この人口年鑑は毎回、トピック主義の編集が行なわれ、今回は「センサス人口統計 I (Population Census Statistics I)」特集となっており、このトピックが取り上げられたのは1962年版に次

いで2回めである。なお、1971年版についても日本語版が刊行される予定である（国際連合統計局編、黒田俊夫翻訳監修、『世界人口年鑑 1971』、1973年6月末ころ原書房発行）。

今回の年鑑によると、1971年の年央時点における世界総人口は37億600万人となっており、1965～71年の人口増加率は年平均2.0%（出生率は人口1,000につき34、死亡率は同じく14と推定されている）で、このままでは、人口は2006年までに倍増することになる。

世界人口の大陸別内訳は、アジア21億400万、ヨーロッパ4億6,600万、アフリカ3億5,400万、ラテンアメリカ2億9,100万、ソビエト連邦2億4,500万、北アメリカ2億3,000万、オセアニア1,980万である。ヨーロッパの面積は世界総面積のわずかに3.6%にすぎないが、ここに世界人口の13%が住んでいるから、人口密度は1平方キロメートルについて94人に上り、大陸別の最高を示している。アジアの面積は世界の面積の20%であるが、ここに世界人口の57%が住んでいるから、アジアの人口密度は76人で、ヨーロッパに次いで高い。

1965～71年の世界人口の年平均増加率は2.0%であるが、大陸別にみてこの間の年平均増加率が最も高いのはラテンアメリカで2.9%に上っている。これに対して北アメリカは1.2%で、アメリカ全体としては2.1%にとどまっている。アジアは、全体としてみると2.3%で世界の平均を上回っている。とくに南アジアにおいては、東アジアの1.8%に対して2.8%という高い率を示し、アフリカがこれに次いで2.6%となっている。オセアニアは2.0%で世界の平均水準、ソ連は1.0%を示し、ヨーロッパは最低の0.8%となっている。

ここには、紙幅の関係でこの年鑑の第1表として掲げられている世界の大陸および主要地域別の人口に関する統計表しか示さなかったが、国別にみると、現在（1971年年央時点）世界で最大の人口を持つ国は中国で、推定7億8,718万、これに次いでインドが5億5,037万、ソビエト連邦2億4,507万、アメリカ合衆国2億701万、インドネシア1億2,489万、パキスタン1億1,660万、日本1億466万、ブラジル9,541万の順で、ここ数年変わらず、日本は依然第7番めに位置している（この時点では、パキスタンがまだパングラデシュと分割されていない）。それにつづく人口5,000万を越える国を列記すると西ドイツ5,918万、ナイジェリア5,651万、イギリス5,557万、イタリア5,408万、フランス5,126万、メキシコ5,083万であり、以下、フィリピン、トルコ、タイ、スペイン、エジプト、ポーランド、韓国（以上が人口3,000万以上である）の順となっている。

人口1,000万以上の諸国のなかで人口密度の高い国は、韓国の324、オランダ323、日本283、西ドイツ239、イギリス228、セイロン193等であるが、人口がわずかに1,000万に足りないベルギーの密度は319であり、これを含めると日本は世界で第5番めになる。しかし、各国の面積のなかには、山地や砂漠や氷結地などのように人間の居住が困難な地域が含まれているので、より現実的な居住可能な地域あたりの平均人口をもって比較してみると、日本は世界で最も人口稠密な国であると推察される。

なお、次に掲げた統計表における世界の主要地方・地域の構成については、72ページに示してある。

（山口喜一記）

世界、主要地方および地域の人口、人口増加率、出生率、死亡率、
面積および人口密度：特定年次

主要地方 および地域	年 央 推 計 人 口 (単位 100万)							年平均人口 増加率 (%)		出生率 (‰)	死亡率 (‰)
	1950	1955	1960	1963	1965	1970	1971	1963-71	1965-71	1965-71	1965-71
	世界合計	2,486	2,713	2,982	3,162	3,289 ²⁾	3,632 ²⁾	3,706	2.0	2.0	34
アフリカ	217	241	270	289	303	344	354	2.6	2.6	47	21
西部アフリカ	64	71	80	85	90	101	104	2.5	2.5	49	24
東部アフリカ	62	69	77	82	86	98	100	2.5	2.5	46	22
北部アフリカ	51	53	65	71	75	87	89	3.0	3.1	47	17
中央アフリカ	25	27	29	31	32	36	37	2.1	2.1	45	24
南部アフリカ	14	16	18	19	20	23	23	2.3	2.4	41	17
アメリカ ³⁾	328	368	412	441	460	511	522	⁴⁾ 2.1	⁴⁾ 2.1	29	10
北部アメリカ ³⁾	166	182	199	208	214	228	230	⁴⁾ 1.3	⁴⁾ 1.2	18	9
ラテンアメリカ	162	186	213	232	246	283	291	2.9	2.9	38	10
熱帯南アメリカ	84	96	112	122	130	151	155	3.0	3.0	40	10
中央アメリカ(本土)	35	41	48	53	57	67	70	3.4	3.4	43	10
温帯南アメリカ	27	30	33	35	36	39	40	1.8	1.8	25	8
カリブ海	17	18	21	22	23	26	26	2.3	2.2	35	11
アジア ⁵⁾⁶⁾	1,355	1,487	1,645	1,754	1,833	2,056	2,104	2.3	2.3	38	15
東アジア ⁵⁾	657	715	780	822	852	930	946	1.8	1.8	31	14
本土地域	536	586	640	675	700	765	779	1.8	1.8	33	15
日本	83	89	93	96	98	103	105	1.1	1.1	18	7
その他の東アジア	38	40	47	51	54	61	63	2.6	2.5	35	10
南アジア ⁶⁾	698	772	865	931	981	1,126	1,158	2.8	2.8	44	17
中央南アジア	481	528	588	632	665	762	783	2.7	2.8	44	17
南東アジア	173	193	219	236	249	287	295	2.8	2.9	44	16
南西アジア	44	51	58	63	67	77	79	2.9	2.9	44	16
ヨーロッパ ⁵⁾⁶⁾	392	408	425	437	445	462	466	⁴⁾ 0.8	⁴⁾ 0.8	17	10
西部ヨーロッパ	122	128	135	140	143	149	150	⁴⁾ 0.8	⁴⁾ 0.7	17	11
南部ヨーロッパ	109	113	118	120	123	128	130	⁴⁾ 0.9	⁴⁾ 0.9	19	9
東部ヨーロッパ	89	93	97	99	100	104	105	⁴⁾ 0.8	⁴⁾ 0.8	17	10
北部ヨーロッパ	72	74	76	78	79	81	81	⁴⁾ 0.6	⁴⁾ 0.6	17	11
オセアニア ³⁾	12.6	14.1	15.8	16.8	17.5	19.4	19.8	⁴⁾ 2.1	⁴⁾ 2.0	25	10
オーストラリアおよび ニュージーランド	10.1	11.4	12.7	13.5	14.0	15.4	15.7	⁴⁾ 1.9	⁴⁾ 1.9	21	9
メラネシア	1.8	1.9	2.2	2.3	2.5	2.8	2.8	2.4	2.5	42	18
ポリネシアおよび マイクロネシア	0.7	0.8	0.9	1.0	1.1	1.2	1.3	3.2	3.1	39	9
ソビエト連邦	180	196	214	225	231	243	245	1.1	1.0	18	8

主要地方および地域	面積 (1,000km ²)	人口密度 ¹⁾	人口割合							面積割合 1971
			1950	1955	1960	1963	1965	1970	1971	
世界合計	135,783	27	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
アフリカ	30,320	12	8.7	8.9	9.1	9.1	9.2	9.5	9.6	22.3
西部アフリカ	6,142	17	2.6	2.6	2.7	2.7	2.7	2.8	2.8	4.5
東部アフリカ	6,338	16	2.5	2.5	2.6	2.6	2.6	2.7	2.7	4.7
北部アフリカ	8,525	10	2.1	2.1	2.2	2.2	2.3	2.4	2.4	6.3
中央アフリカ	6,613	6	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	1.0	4.9
南部アフリカ	2,701	9	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	0.6	2.0
アメリカ ³⁾	42,083	12	13.2	13.6	13.8	13.9	14.0	14.1	14.1	31.0
北部アメリカ ⁴⁾	21,515	11	6.7	6.7	6.7	6.6	6.5	6.3	6.2	15.8
ラテンアメリカ	20,567	14	6.5	6.9	7.1	7.3	7.5	7.8	7.9	15.1
熱帯南アメリカ	13,700	11	3.4	3.5	3.8	3.9	4.0	4.2	4.2	10.1
中央アメリカ(本土)	2,496	28	1.4	1.5	1.6	1.7	1.7	1.8	1.9	1.8
温帯南アメリカ	4,134	10	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	1.1	3.0
カリブ海	238	111	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.7	0.2
アジア ^{5) 6)}	27,532	76	54.5	54.8	55.2	55.5	55.7	56.6	56.8	20.3
東アジア ⁵⁾	11,757	80	26.4	26.4	26.2	26.0	25.9	25.6	25.5	8.7
本土地域	11,129	70	21.6	21.6	21.5	21.3	21.3	21.1	21.0	8.2
日本	370	283	3.3	3.3	3.1	3.0	3.0	2.8	2.8	0.3
その他の東アジア	258	242	1.5	1.5	1.6	1.6	1.6	1.7	1.7	0.2
南アジア ⁶⁾	15,775	73	28.1	28.5	29.0	29.4	29.8	31.0	31.2	11.6
中央南アジア	6,771	116	19.3	19.5	19.7	20.0	20.2	21.0	21.1	5.0
南東アジア	4,498	66	7.0	7.1	7.3	7.5	7.6	7.9	8.0	3.3
南西アジア	4,506	18	1.8	1.9	1.9	2.0	2.0	2.1	2.1	3.3
ヨーロッパ ^{5) 6)}	4,936	94	15.8	15.0	14.3	13.8	13.5	12.7	12.6	3.6
西部ヨーロッパ	995	150	4.9	4.7	4.5	4.4	4.3	4.1	4.0	0.7
南部ヨーロッパ	1,315	99	4.4	4.2	4.0	3.8	3.7	3.5	3.5	1.0
東部ヨーロッパ	990	106	3.6	3.4	3.3	3.1	3.0	2.9	2.8	0.7
北部ヨーロッパ	1,636	50	2.9	2.7	2.5	2.5	2.4	2.2	2.2	1.2
オセアニア ³⁾	8,510	2	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	0.5	6.3
オーストラリアおよび ニュージーランド	7,955	2	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	0.4	5.9
メラネシア	524	5	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.1	0.4
ポリネシアおよび マイクロネシア	30	42	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
ソビエト連邦	22,402	11	7.2	7.2	7.2	7.1	7.0	6.7	6.6	16.5

人口数は大きさの順に掲げた推計値であり、かなりの誤差を免かれない。

1) 面積1平方キロメートル当たりの人口。数値は単純に人口を面積で割ったものであって、都市的地域の意味での密度を表わすものでもなければ、各地域の土地と資源の扶養力を意味するものでもない。

2) 国別の材料に由来する国際入移民数および出移民数の間の食い違いを調整してある。調整しないと総人口は、1970年が3,635百万人および1971年が3,710百万人となる。

3) アメリカ合衆国の1州であるハワイは、オセアニアでなく北アメリカに含まれる。

4) 率は自然増加と人口移動の双方の影響を反映している。

5) 別掲のソビエト連邦を除く。

6) トルコのヨーロッパの部は、ヨーロッパでなく南アジアに含まれる。

【参考】 世界人口年鑑（1971年版）に示された主要地方ならびにその構成地域表

【アフリカ】

西部アフリカ

ベルデ岬諸島
ダホメ
ガンビア
ガーナ
ギニア
コートジボアール
リベリア
マリ
モーリタニア
ニジェール
ナイジェリア
ポルトガル領ギニア
セントヘレナ
セネガル
シエラレオネ
トーゴ
オートポルタ

東部アフリカ

イギリス印度洋領土
ブルンジ
コモロ諸島
エチオピア
英領アファール=イッサ
ケニア
マダガスカル
マラウイ
モーリシャス
モザンビーク
レユニオン
ルワンダ
セイシユール
ソマリア
南部ローデシア
ウガンダ
タンザニア連合共和国
ザンビア

北部アフリカ

アルジェリア
エジプト
リビア
アラブ共和国
モロッコ
スペイン領北アフリカ
スペイン領サハラ
スーダン
チュニジア

中央アフリカ

アンゴラ(カビンダを含む)
カメルーン
中央アフリカ共和国
チャド
コンゴ
赤道ギニア
ガボン
サントメ=プリンシペ
ザイール

南部アフリカ

ボツワナ
英領南部=南極地域
レソト
ナミビア
南アフリカ
スワジランド

【北アメリカ】

バーミューダ
カナダ
グリーンランド
サンピエール=ミクロン
合衆国(ハワイを含む)

【ラテンアメリカ】

熱帯南アメリカ

ボリビア
ブラジル
コロンビア
エクアドル
仏領ギアナ
ガイアナ
ペルー
スリナム
ベネズエラ

中央アメリカ(本土)

英領ホンジュラス
運河地帯(パナマ)
コスタリカ
エルサルバドル
グアテマラ
ホンジュラス
メキシコ
ニカラグア
パナマ

温帯南アメリカ

アルゼンチン
イギリス南極領土
チリ
フォークランド諸島
(マルビナス)

カリブ海

パラグアイ
ウルグアイ
アンチグア
バハマ諸島
バルバドス
英領バージン諸島
カイマン諸島
キューバ
ドミニカ
ドミニカ共和国
グレナダ
グアドループ
ハイチ
ジャマイカ
マルチニーク
モンツェラット
オランダ領アンチル
プエルトリコ
セントキッツ=ネビス=アンギュラ
セントルシア
セントビンセント
トリニダード=トバゴ
タークス=カイコス諸島
米領バージン諸島

【東アジア】

本土地域
中国
ホンコン
マカオ
モンゴル

日本

その他の東アジア

朝鮮
朝鮮民主主義人民共和国
韓国
琉球諸島

【南アジア】

中央南アジア

アフガニスタン
ブータン
セイロン
インド
イラン
マルジブ
パキスタン
ネパール
シッキム

南東アジア

ブルネイ
ビルマ
インドネシア
クメール共和国
ラオス
マレーシア
フィリピン
ポルトガル領チモール
シンガポール
タイ
ベトナム
ベトナム民主共和国
ベトナム共和国
西イリアン

南西アジア

バーレーン
キプロス
ガザ地帯(パレスチナ)
イラク
イスラエル
ヨルダン
クウェート
レバノン
オマーン
カタール
サウジアラビア
シリア
アラブ首長国連合
トルコ
イエメン
イエメン人民民主主義共和国

【ヨーロッパ】

西部ヨーロッパ

オーストリア
ベルギー
フランス
ドイツ連邦共和国
リヒテンシュタイン
ルクセンブルク
モナコ
オランダ
スイス
西ベルリン

南部ヨーロッパ

アルバニア
アンドラ

ジブラルタル

ギリシア
バチカン市国
イタリア
マルタ
ポルトガル
サンマリノ
スペイン
ユーゴスラビア

東部ヨーロッパ

ブルガリア
チェコスロバキア
東ベルリン
ドイツ民主主義共和国
ハンガリー
ポーランド
ルーマニア

北部ヨーロッパ

チャネル諸島
デンマーク
フェロー諸島
フィンランド
アイスランド
アイルランド
マン島
ノルウェー
スバル=バル=ヤンマイエン諸島
スウェーデン
連合王国

【オセアニア】

オーストラリアおよび
ニュージーランド

メラネシア

英領ソロモン諸島
ニューカレドニア
ニューギニア
ニューヘブリデス
ノーフォーク島
パプア
ウォリス=フーツナ諸島

ポリネシアおよび
マイクロネシア

アメリカ領サモア
カントン=エンダー
バリー諸島
クリスマス島
ココス(キーリング)諸島
クック諸島
フィジー
フランス領ポリネシア
ギルバート=エリス諸島
グアム
ジョンストン島
ミッドウエー島
ナウル
ニウエ島
太平洋諸島
ピットケアン島
トケラウ諸島
トンガ
ウェーク島
西部サモア

【ソビエト

社会主義共和国連邦】